



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■バージョン: CASBEE横浜2017年版v.1.7

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	芹が谷やまゆり園新築工事(居住N棟)	階数	地上2F
建設地	神奈川県横浜市港南区芹が谷二丁目1236番11ほか	構造	木造
用途地域	1種住居、防火地域 指定なし	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2020年7月1日
敷地面積	8,357 m ²	作成者	宮尾 欣佑
建築面積	1,358 m ²	確認日	2020年07月20日
延床面積	2,591 m ²	確認者	黒岩 祐治

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 床、天井のうち二面に吸音材を使用している。 共用部分: 2.5% ≤ [昼光率]。 宿泊部分: 1.25% ≤ [昼光率]。 カーテン、庇を組み合わせて制御。	Q2 サービス性能 個室10m ² 床で、かつ多床室8m ² 床以上。 住居・宿泊部の天井高2.5m以上。 共用部分の0.01 ≤ [壁長さ比率] < 0.3。	Q3 室外環境 (敷地内) I-2)空地率70.46%のため2ポイント。 III-1)緑被率、水被率、中・高木の水平投影面積率20.34%のため2ポイント。
LR1 エネルギー BPlm=0.57。	LR2 資源・マテリアル LGS使用している。 発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して84%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

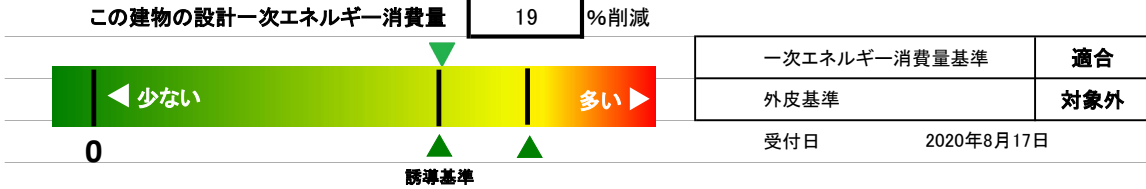


4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 **芹が谷やまゆり園新築工事(居住N棟)**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **3**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①BPIm=0.57。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 **2**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑩共用部分: 2.5% ≤ [昼光率]、宿泊部分: 1.25% ≤ [昼光率]、カーテン、庇を組み合わせて制御。

⑪JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している、自然換気有効開口面積が居室床面積の1/10以上。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入	



CASBEE横浜2017年版v.1.4
 芹が谷やまゆり園新築工事(居住N級)

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										2.7
Q1 室内環境										3.2
1 音環境				3.2	0.15	3.0	1.00			3.1
1.1 騒音				3.0	0.40	3.0	0.40			-
1.2 遮音				3.0	0.40	3.0	0.40			-
1.2.1 開口部遮音性能				3.0	0.40	3.0	0.30			-
1.2.2 界壁遮音性能				3.0	0.60	3.0	0.30			-
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20			-
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音				4.0	0.20	3.0	0.20			-
2 温熱環境				2.7	0.35	2.5	1.00			2.7
2.1 室温制御				2.5	0.50	2.1	0.50			-
2.1.1 室温	快適・動きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.38	3.0	0.57			-
2.1.2 外皮性能	快適・動きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	1.0	0.25	1.0	0.43			-
2.1.3 ゾーン別制御性	快適・動きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-			-
2.2 湿度制御	快適・動きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.20	3.0	0.20			-
2.3 空調方式	快適・動きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.30	3.0	0.30			-
3 光・視環境				3.3	0.25	3.8	1.00			3.4
3.1 屋光利用				4.2	0.30	4.2	0.40			-
3.1.1 屋光率	快適・動きやすさ		⑩光環境	5.0	0.60	5.0	0.60			-
3.1.2 方位別開口	快適・動きやすさ		⑩光環境	-	-	-	-			-
3.1.3 屋光利用設備	快適・動きやすさ		⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.40			-
3.2 グレア対策				3.0	0.30	4.0	0.40			-
3.2.1 屋光制御	快適・動きやすさ		⑩光環境	3.0	1.00	4.0	1.00			-
3.3 照度	快適・動きやすさ		⑩光環境	3.0	0.15	3.0	0.20			-
3.4 照明制御	快適・動きやすさ		⑩光環境	3.0	0.25	-	-			-
4 空気環境				3.9	0.25	3.8	1.00			3.8
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63			-
4.1.1 化学汚染物質	快適・動きやすさ		⑪空気環境	4.0	1.00	4.0	1.00			-
4.2 換気				3.0	0.30	3.6	0.38			-
4.2.1 換気量	快適・動きやすさ		⑪空気環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
4.2.2 自然換気性能	快適・動きやすさ		⑪空気環境	-	-	5.0	0.33			-
4.2.3 取り入れ外気への配慮	快適・動きやすさ		⑪空気環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-			-
4.3.1 CO ₂ の監視	快適・動きやすさ		⑪空気環境	-	-	-	-			-
4.3.2 喫煙の制御	快適・動きやすさ		⑪空気環境	5.0	1.00	-	-			-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-			2.6
1 機能性				2.4	0.40	4.0	1.00			2.7
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60			-
1.1.1 広さ・収納性	快適・動きやすさ		⑫機能性	-	-	5.0	1.00			-
1.1.2 高度情報通信設備対応	快適・動きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-			-
1.1.3 バリアフリー計画	快適・動きやすさ		⑫機能性	3.0	1.00	-	-			-
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.5	0.40			-
1.2.1 広さ感・景観	快適・動きやすさ		⑫機能性	-	-	4.0	0.50			-
1.2.2 リフレッシュスペース	快適・動きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-			-
1.2.3 内装計画	快適・動きやすさ		⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50			-
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-			-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	快適・動きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
1.3.2 維持管理用機能の確保	快適・動きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-			2.9
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-			-
2.1.1 耐震性	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2.1.2 免震・制振性能	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				2.8	0.30	-	-			-
2.2.1 躯体材料の耐用年数	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-			-
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-			-
2.4.1 空調・換気設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2.4.2 給排水・衛生設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2.4.3 電気設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2.4.4 機械・配管支持方法	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2.4.5 通信・情報設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-			-
3 対応性・更新性				2.4	0.30	2.0	1.00			2.3
3.1 空間のゆとり				2.2	0.30	1.0	0.50			-
3.1.1 階高のゆとり				1.0	0.60	1.0	0.60			-
3.1.2 空間の形状・自由さ				4.0	0.40	1.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり				2.0	0.30	3.0	0.50			-
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-			-
3.3.1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
3.3.2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
3.3.3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-
3.3.4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-			-
3.3.5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-			-
3.3.6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2017年版v.1.4
 芦が谷やまゆり園新築工事(居住N棟)

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑧地域性への配慮		2.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・動きやすさ	④敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		2.9	0.50	-	-	2.9
4 効率的運用					3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価					3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価					-	-	-	-	-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護					2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水					1.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減					3.6	0.60	-	-	3.6
2.1 材料使用量の削減					-	-	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.22	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用					3.0	0.22	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					4.0	0.22	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材					3.0	0.11	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み					5.0	0.22	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避					4.0	0.70	-	-	-
1 消火剤					-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)					5.0	0.50	-	-	-
3 冷媒					3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮					3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮					3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善					3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減					3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮					3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	-
1 騒音					3.0	1.00	-	-	-
2 振動					-	-	-	-	-
3 悪臭					-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制					1.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制					3.0	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					3.0	0.70	-	-	-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30	-	-	-
上記以外の重点項目						-	-	-	-
<事務用途>						-	-	-	-
知的生産性向上への取組		快適・動きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		-	-	-	-	-
<住宅用途>						-	-	-	-
健康と安心						-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策		健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
2 適切な換気計画		健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策		健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑦防犯対策		-	-	-	-	-